



岸本区政 2度目の新年度予算可決！

防災・教育・福祉、前向き変化 加速！ 区民福祉向上へ！

杉並区議会・第1回定例会が2月9日から3月18日まで行われ、岸本聡子区長の2度目の予算提案となる令和6年度杉並区一般会計予算が賛成多数で可決されました。

日本共産党区議団は、岸本区長の予算案について、震災対策の拡充や給食費無償化の継続と対象拡大、学校トイレの洋式化推進、高齢者の補聴器購入費助成の予算倍増など、区民の命と暮らしを守るための費用が多数盛り込まれたことを評価し賛成しました。同時に、物価高騰対策の充実、家賃助成の早期実施、国保料の負担軽減に向けた取組など、積極的提案を行いました。

予算には、日本共産党のほか、立憲民主党、公明党など27人が賛成。自民・無所属は10人のうち4人が退席し6人が反対。無所属・都民ファーストなどと合わせ16人が反対しました。(下表)

■「令和6年度 杉並区一般会計予算」に対する各会派の賛否

Table with 17 columns: Party/Group, Self, Communist, Constitution, Komei, None, No Party, No Party. Includes '賛否' (Approval) row with symbols like O, X, and numbers.

【賛否】 O/賛成、X/反対、退/退席。「自無」は10名のうち4名が退席した。「れ耕」は賛成1人、反対1人と賛否が分かれた。「無維」は1名が議長の為、賛否は3名のみ表明。

【会派の正式名称】 自無/自民党・無所属杉並区議団、共産/日本共産党杉並区議団、立憲/立憲民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、無部/無所属・都民ファーストの会、維無/維新・無所属議員団、生ネ/区議会生活者ネットワーク、れ耕/れいわを耕す、安心/安心・安全杉並の会、参政/参政党杉並、革新/都政を革新する会、セン/杉並をセンタク致し候、緑グ/緑の党グリーンズジャパン、杉わ/杉並わくわく会議、共生/共に生きる杉並、無/無所属(堀部)

議案・議決結果：第一回定例会での議案・議決の結果はコチラからご覧になれます (with QR code)

いのち・暮らしを守る施策 拡充へ！

■避難所環境の改善、耐震・不燃化の強化！！

新年度予算では震災救援所にプライバシー確保のための新たな間仕切りの追加など震災備蓄品の拡充予算が計上され、段ボールベッドの支給数や日数などを協定事業者と協議を行う方針も示されました。また、女性や性的マイノリティ、高齢者や子どもに配慮した避難所のあり方の検討や、耐震・不燃化助成制度の拡充、感震ブレーカーの無料設置対象数を1,000世帯から1,500世帯に拡充するなど、震災対策が強化されます。



■給食費無償化拡充、学校トイレの洋式化100%へ

昨年10月に開始された給食費無償化を継続し、新年度から国立・私立等の児童生徒や、不登校児童生徒も対象に。物価高騰のもと子育て世帯への支援強化としても、国に実施させる決断を促すうえでも重要です。

学校トイレの洋式化率は、本年3月末時点で73%と、前区長のもとで大きく立ち遅れ23区中最下位でした。党区議団は改善を再三指摘してきましたが、岸本区政のもと、5年間で洋式化率を100%に近づける方針が表明されました。新年度は11校で219基の洋式化改修工事が予定されています。



田中前区政の負の遺産を解消し、住民参画の区政運営を！

○児童館・ゆうゆう館の全館廃止計画ストップ

前区政が「区立施設再編整備計画」の名のもとに、住民の声を聞かずに進めてきた児童館・ゆうゆう館の全廃計画は、岸本区長のもとで「区立施設マネジメント計画」に変更されました。今後、施設整備は「幅広く利用者や地域住民の声を聞き、区民と共に創り上げていく」方針に転換されました。既に廃止された地域でも同様に取り組む必要があるとしていることも重要です。

○都市計画道路問題、住民との対話を尽くして課題解決を

前区政のもとで強行された都市計画道路事業により、各地で様々な問題が発生しています。岸本区長は新年度、区からの積極的な情報提供と区民の議論の場として「(仮称) デザイン会議」を開催することを表明。党区議団は現状の道路計画は、住民との対話で計画の変更、修正、見直しを視野に検討することを求めました。

○「善福寺川上流調節池(仮称)事業」、東京都は住民の声を聞け！

東京都が進める「善福寺川上流調節池」は利用頻度が高い関根文化公園やロケット公園、民間住宅地が事業用地となり、多くの住民から反対の声が噴出しています。党区議団の調査で、前区長が水面下で東京都と協議し、関根文化公園を事業用地として差し出していた事実が明らかに。岸本区長が近隣住民に寄り添い、住民の不安の声を都知事に届け、説明会の追加開催などを要望してきたことは重要です。

阿佐ヶ谷駅北東地区 住民参加のもとでのまちづくり

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりは、前区政によって不透明な経過で進められてきましたが、岸本区長は住民との意見交換を実施し、情報開示を進めてきました。

計画が進行してきた中で、現計画を見直すことは難しいと判断されましたが、杉一小跡地にタワーマンションや大型商業施設の整備を行わないと岸本区長が表明したことは重要です。

党区議団は、杉一小の移転にあたっては安全な教育環境を確保し、跡地には住民参加のもとで区民のための公共的・恒久的な施設を整備するよう引き続き求めていきます。

■田中前区政のもと平成31年の計画(案)には、杉一小跡地に「商業・業務など多様な都市機能の集積を図る」と記載されていたが、岸本区長は大型商業施設等の整備を行わない考えを示した。

(課題5) 駅前にはさわしいにぎわいの創出 駅至近の幹線道路沿道の立地性を踏まえ、商業・業務などの多様な都市機能の集積を図るとともに、地域生活拠点に相応しい密度の土地利用を誘導し、良好な街並み形成を図る必要があります。

(仮称)阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画(案) (平成31年1月)

くすやま美紀(団長) ☎080-5531-8236 荻窪5-15-19-704

山田耕平(幹事長) ☎090-9973-0941 善福寺2-2-11

富田たく(副幹事長) ☎090-9001-5249 高円寺南3-59-7-301

酒井まさえ ☎090-9325-5676 堀ノ内1-9-7

小池めぐみ ☎090-5516-3284 阿佐谷北1-3-9

和氣みき ☎090-4154-9786 浜山3-26-27富貴ビル1F

高過ぎる使用料引き下げを、生活保護制度の周知を

区立施設使用料は前区政のもとで大幅に値上げされ、周辺区と比べ2倍以上高い場合も。山田議員は来年度からの速やかな引き下げを求め、岸本区長は「利用しやすい施設となるよう使用料の検討・見直しを行い、できる限り早期に改定する」としました。

生活に困窮した住民のセーフティネットとなる生活保護制度について、さらなる周知を求めたところ「制度を広く周知するポスターの作成を予定している」と答弁しました。



山田耕平議員

困難を抱える女性に寄り添い、ジェンダー平等推進を

くすやま議員は、4月からの女性支援法施行にあたっての区の対応と、ジェンダー平等の推進について質問。区長は「困難を抱える女性が、福祉事務所をはじめ様々な窓口で、どこでも相談できるよう担当職員が緊密に連携し相談者に寄り添った対応を心がける」と答弁。さらに「あらゆる分野で積極的に女性の登用を進める視点が重要。ジェンダー平等を促進し、女性が安心して暮らせる杉並に向けて取り組んでいく」との認識を示しました。



くすやま美紀議員

ケア24支援拡充は重要、さらに認知症対策強化を

酒井議員は、党区議団も求めてきた「ケア24」への財政支援拡充について、岸本区政が新年度から実施することを評価。杉並区では現在、65歳以上の5.5人に1人が認知症になることを取上げ、認知症対策の強化求めました。区はチームオレンジ（認知症当事者とその家族を支援するチーム）を現在12チームから2年間で20チームに増設すると答弁。若年性認知症の支援強化や、認知症予防・共生講座の推進を図る方針も示されました。



酒井まさえ議員

事業者支援を要望、おくやみコーナーで不便解消を

和氣議員は物価高騰等で経営困難な個人商店への支援強化を求めました。区は4月から「商店街トライアル事業」を開始すると答弁。また、中小企業資金融資の借換資金について700万円から2,000万円に限度額を引き上げると答弁しました。

大切な方を亡くされた遺族にとって、区役所での煩雑な手続きが負担です。負担解消のための「おくやみコーナー」設置を求め、区から今年9月の開設に向け準備を開始することが示されました。



和氣みき議員

区職員・契約事業者の雇用環境改善、公共の再生へ

新年度から会計年度任用職員（非正規職員）の待遇改善が示されました。小池議員の質問で、会計年度任用職員の44%・1,100名の報酬額引き上げと、2,100名が対象となる報酬上限額引き上げが明らかになりました。また、23区で初めて生理休暇を有給休暇とすることも示されました。非正規職員の85%を占める女性の処遇改善を進めることは重要です。

公契約条例については、労働報酬下限額が約8%引き上げられます。



小池めぐみ議員

職員倫理規定の早期制定を、家賃助成の早期創設を

富田議員は、前区長と区職員が利害関係者とゴルフを行っていた問題で、職員倫理規定の早期制定を繰り返し求めてきました。今回、区は「第2回定例会（6月頃）で報告できるよう検討中」と答弁しました。

家賃助成は23区中19区で実施されていますが、前区政では実施されませんでした。党区議団は公共住宅の供給率が他区よりも低いもとで、家賃助成制度の早期の実施を求めてきました。区は「早期の制度創設に向け検討を進める」と答弁しました。



富田たく議員

陳情審査・結果

区民から提出された請願・陳情が審査されました。審査結果の一部を紹介します。

◆事実婚適用を求める陳情

採択（賛成31、反対6、退席10）

杉並区パートナーシップ制度に事実婚カップルも適用することを求める内容で、共産党、立憲民主党、公明党などの賛成多数で「採択」が決定。反対したのは無所属・都民ファースト、参政党など。自民党は会派10名全員が退席しました。

◆核兵器禁止条約参加を求める陳情

不採択（賛成21、反対26）

日本政府に対して核兵器禁止条約への参加を求める意見書を提出することを、区議会に要請する内容で、自民党、公明党、無所属・都民ファーストなどの反対多数で「不採択」となりました。

■陳情に対する各会派の賛否

- ①杉並区パートナーシップ制度へ事実婚カップルも適用を求める陳情
- ②杉並区議会が「日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書」を提出することを要請する陳情

会派・人数	自無	共産	立憲	公明	無都	維無	生ネ	れ耕	安心	参政	革新	セン	緑グ	杉わ	共生	無
①事実婚適用を求める陳情	10	6	6	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
②核禁止条約参加を求める陳情	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○

【賛否】○/賛成、×/反対、退/退席。陳情①について「自無」は10名全員が退席した。「無維」は1名が議長のため、賛否は3名のみ表明。

【会派の正式名称】表面表参照

請願・陳情の結果：区議会に提出された陳情・請願の結果はコチラからご覧になれます



国民健康保険料・後期高齢者医療保険料

大幅値上げ

●国保料は過去最高の値上げ幅。党区議団は反対

2024年度の国民健康保険料について、一人当たり年額18万2,171円から1万3,848円値上げし、19万6,019円とする議案が提案されました。過去最高の値上げ額です。国保料が毎年値上げされるのは、国と東京都が財政責任を果たさないことが大きな要因です。物価高騰のもと、さらなる負担増は容認できず、値上げ議案と国民健康保険事業会計には反対しました。

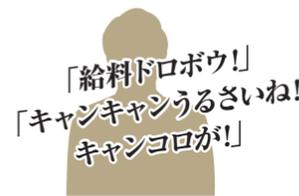
●後期高齢者医療保険料は、23区唯一の共産党・くすやま議員が徹底論戦

東京都後期高齢者医療広域連合議会で、75歳以上高齢者の保険料を6,514円引き上げる議案が可決されました。一人当たりの保険料は年額10万4,842円から11万1,356円に。過去最高の値上げ額です。

23区で唯一共産党議員として広域連合議員を務めるくすやま美紀議員は、広域連合議会で「年金削減や物価高騰が高齢者の暮らしを脅かしているもとで、さらなる保険料の値上げは許されない」と主張し、値上げに反対しました。

酷すぎる！

田中ゆうたろう議員の暴言、侮辱発言



今議会でも「田中ゆうたろう」議員が聞くに堪えない暴言を繰り返しました。

岸本区長に対して「立場をわきまえることが出来ない」、「平気で嘘をつき、平然と区民をだます」、区長を指さし「嘘つき区長」と誹謗しました。

また、副議長（公明党議員）には「給料ドロボウ」と侮辱的なヤジを飛ばし、党区議団には「キャンキャンうるさいね！キャンコロが！」等と暴言を発しました。

こうした事態に対して、議会運営委員会理事会では「特定の人を侮辱するような発言」に対する懲罰動議の提出方法等に関する協議も行われています。

党区議団は、心ある会派と協力し、議会正常化に向けて全力を尽くします。